

トルコ為替週報

2023年10月24日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去1週間の動き＞

(10月17日～10月23日)

USD/TRY: 27.8284～28.2141

TRY/JPY: 5.31～5.36 (参照値)

過去1週間のトルコリラは終値ベースではじりじりと対ドルで続落し、節目の28.0を明確に超えてリラ安が進んでいる。中東情勢は、イスラエルとイスラム武装組織ハマスの軍事衝突がエスカレートして中東の他地域にも広がるのではないかと懸念が強まっている。リスク回避のドル買いや、エネルギー価格高騰に伴うトルコの経常収支の悪化リスクが懸念される。さらには、米10年国債利回りが10月23日に一時、節目となる5.0%を超えて上昇したことも、民間部門を中心に多額の外貨建てを抱えるトルコにとって、リスク要因となる。

経済指標は先週は重要なものは少なかったが、トルコ中央銀行が集計・公表しているCPIなどの民間エコノミスト予想が10月20日に発表されている。12か月後のCPI見通しは、9月時点の年率+44.94%から10月には同+45.28%へとやや上昇した。中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇が意識されているものと見られる。

地政学的な話題では、スウェーデンのNATOへの加盟申請を巡り、トルコ大統領府は10月23日、エルドアン大統領が批准に向けた議定書を議会に送ったと発表した。今後、議会での審議が行われる。スウェーデンは去年6月、トルコの要求に応じてクルド人武装組織のクルド労働者党(PKK)をテロ組織と確認し、支援を行わないことやメンバーの引き渡しに関する法的枠組みを整備することなどで合意。トルコ政府は要求がほぼ受け入れられたとして両国のNATO加盟を支持することを表明していた。その後も亡命中のジャーナリストの引き渡しなどを巡って対立が続いていたが、ようやくスウェーデンのNATO加盟に向けて目途がついた形だ。エルドアン氏は米国によるF16戦闘機の自国への供与が批准に向けた道を開くことになると発言していたこともあり、米国の対応も注目される。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
10/20	08:00	インフレ期待(12か月)	10月		45.28%	44.94%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(10月24日～10月30日)

USD/TRY: 23.00～28.50

TRY/JPY: 5.10～6.30

今後1週間のトルコ・リラ相場は続落する公算が大きい。中東情勢の緊迫化や、米長期金利の動向への警戒が続くだろう。トルコ国内の要因では、10月26日に控えるトルコ中央銀行(TCMB)の金融政策発表が最大の焦点となる。マーケットコンセンサスは30%から35%への利上げであり、実現すれば、5%ポイントの利上げ幅は9月会合と同様となる。9月分の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+61.53%と8月分の同+58.94%から一段と加速している。インフレ期待が一段と高まるリスクを考慮すれば、TCMBは金融引き締めを継続する可能性が高い。今年5月の大統領選以降の、オーソドックスな金融政策運営への回帰はリラにとってポジティブな要因だが、これまでの利上げに対する市場の反応を考慮すれば、リラの大幅な反発は望み薄と言わざるを得ない。実質政策金利は依然として大幅なマイナスであり、先行きもインフレ率が高止まる公算が強まっていることを考慮すれば、インフレを抑制し通貨安圧力を抑えるには少なくとも40%台への政策金利への引き上げは必要であろう。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

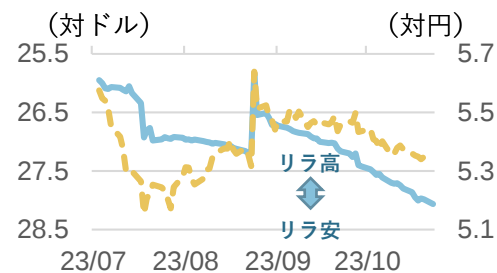
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
10/25	08:00	設備稼働率	10月			77.3%
10/26	12:00	政策金利発表		35%		30%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコ・リラの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

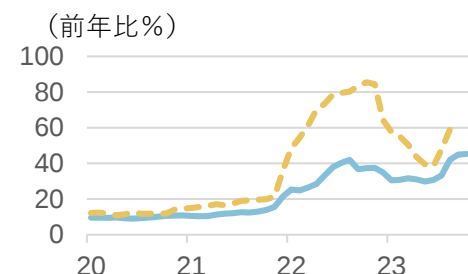
点線: 対円レート(右軸)



トルコ中銀公表 民間エコノミストCPI予測

実線: エコノミスト予測中央値(12か月後)

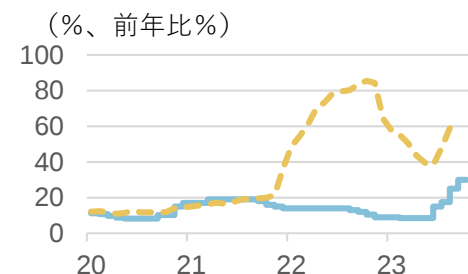
点線: 消費者物価指数(CPI)実績値



トルコ 政策金利とCPI

実線: 1週間物レポレート(主要政策金利)

点線: 消費者物価指数(CPI)



(資料: トルコ統計局、トルコ財務省、ブルームバーグ)

＜文責＞

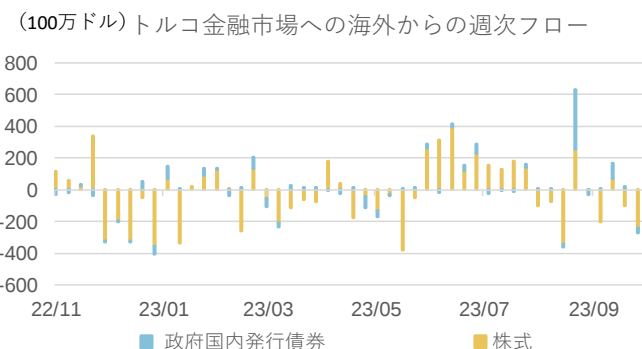
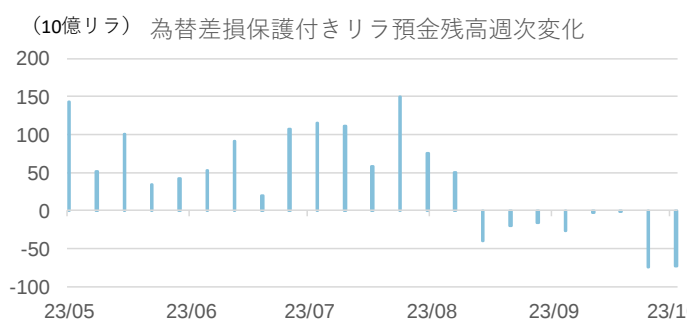
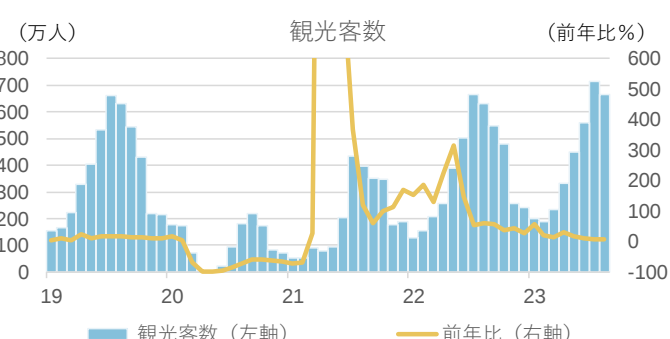
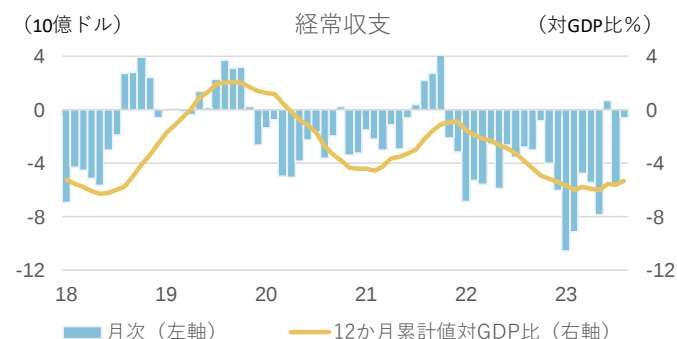
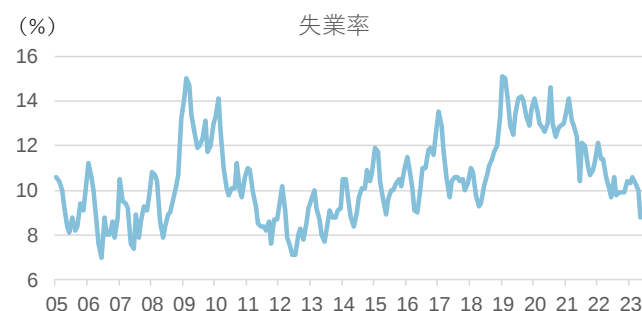
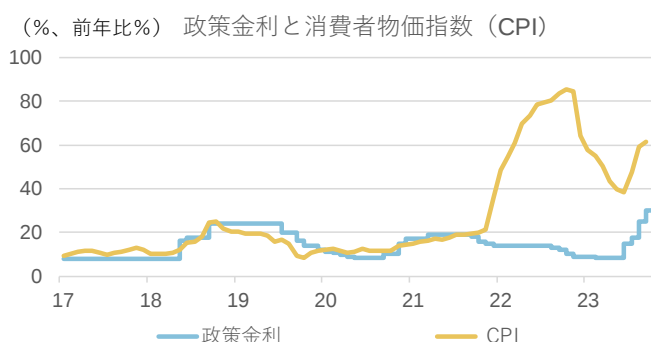
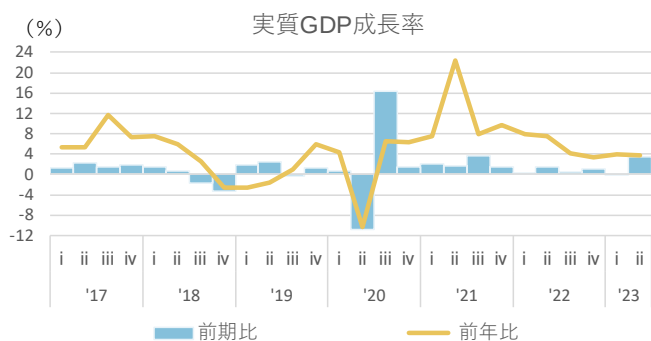
欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

<主要経済指標の推移>



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。